

# タイトル：『汐製菓会社の新作 48 羊羹 3』

---

シーン一：発端

（汐製菓会社の会議室。汐が中央に立ち、塩田が資料を抱えて困惑した表情で座っている）

汐：「決めたぞ、次の新作はこれだ！『羊羹 3』--」

塩田：「え…羊羹？前作の『羊羹 2』はつい一ヶ月前に発売されたばかりですけど？」

汐：「ふっ、進化は止まらないものだよ、塩田君。それに今回は特別だ。次の『羊羹』は、なんと…『マラサダ味』だ！」

塩田：（驚いて）「マ、マラサダ…味…羊羹とマラサダって全く別物じゃないですか！和菓

子と揚げパン、絶対に合わないと思うんです  
けど…」

汐：「だからこそ面白いんだ！羊羹のプルプル  
とマラサダのフワフワ、このギャップがウケるん  
だよ。まさに『面白きことも無き世を面白  
く』だ！」

塩田：（ため息をついて）「社長のその発想に  
は、いつも驚かされますけど…本当にウケるん  
でしょうか？」

汐：「ウケるさ！世界中の人が驚くような菓  
子を作るのが私たちの使命だ！」

---

## シーン2：試作室にて

（試作室に入り、汐と塩田がパティシエたちに  
新作の指示を出す）

汐：「皆、次の新作は『羊羹』だ！味は『マ  
ラサダ味』！」

パティシエ：（戸惑いながら）「馬拉サダ味

…？羊羹とどう組み合わせるんでしょうか

…？」

汐：「簡単だ！食感は羊羹そのまま、味だ  
けを馬拉サダにするんだ！」

パティシエ：（驚きながら）「食感は羊羹…  
で、味は馬拉サダ」それ、どうやって…？」

塩田：「社長、それ、本当に実現できるんです  
か…？お菓子の食感と味って、普通は一致す  
るものなんですけど…」

汐：「いやいや、塩田君。常識にとらわれては  
いけない！プルプルの羊羹に、馬拉サダのフワ  
フワな味を融合させるんだよ！この斬新なア  
イデアがヒットすること間違いなし！」

パティシエー：「…ええと、じゃあ試作してみますね。」

---

### シーン③：試食タイム

（試作が完成し、汐と塩田がテーブルに座り試食を開始する）

汐：「さあ、これが新作『羊羹ωマラサダ味』だ！試してみよう！」

塩田：（警戒しながら）「本当に大丈夫なんですか…？」

汐：（自信満々に一口）「うん、これは…驚きの…」

（汐の顔が少しひきつる）

塩田：「どうですか、社長？」

汐…（無理やり笑顔を作り）「面白い…！」  
れは予想以上に挑戦的だ！食感は完全に羊  
羹なのに、味はマラサダ。揚げパンの甘さと油  
の風味が広がる…！」

塩田…（恐る恐る一口）「えっ…これ、最初は  
羊羹のプルプル感があるのに、味はまるで油で  
揚げたパン…。なんか、どっちつかずで違和感  
がすごいです…」

汐…「そう！その違和感がいいんだ！食感と  
味が全く合わない、その驚きが消費者の心に  
残るんだ！」

塩田…「…でもこれ、本当に売れるんでしょう  
か？なんか…食べてて混乱しますよ？」

---

## シーン④：マーケティング会議

（マーケティング部との会議が始まる）

マーケティング担当…「次の新作は『羊羹ωマ  
ラサダ味』ですか…。ターゲット層は一体誰を  
想定してるんですか？」

汐…「ターゲットは全世界だ！特にハワイを狙  
う！マラサダはハワイの伝統菓子だろう？だ  
から、ハワイの人々にもこの新しい羊羹を知っ  
てもらおうんだ！」

塩田…「ハワイ…ですか？羊羹って、あまり海  
外では知られてないんじゃないか…？」

汐…「それがいいんだよ！誰も知らない組み合  
わせだからこそ新鮮なんだ。ハワイと日本の文  
化が一つになったら、きつとウケる！」

マーケティング担当…（苦笑い）「社長…ハワイ  
の人たちは、伝統的なマラサダの方が好きな  
んじゃないですか？それに、日本の羊羹ファン  
も…」

汐：「いやいや、世間の反応なんて後からついてくる！今はこの驚きと新鮮さが勝負どころだ！」

塩田：（困惑しながら）「本当に大丈夫なんでしょうか…？」

---

### シーン5：発売日・試食イベント

（試食イベントが盛大に開かれ、国内外の人々が集まっている）

汐：「皆さん、お待たせしました！これが新作『羊羹ωマラサダ味』です！どうぞお試しください！  
ださい！」

（観客たちが試食を始める。様々なリアクションが続々と出てくる）

観客A（日本人）：「えっ、これは…食べた瞬間は羊羹なのに、味は油の風味がする！どういふこと？」

観客B（日本人）：「マラサダってこんな味だったっけ…？ちよつとよく分からないけど、面白いな…」

観客C（ハワイ出身の外国人）：「これ、マラサダって言ってるけど、なんで食感が羊羹なの？すごく独特だけど…これはこれでアリかも。」

観客D（ヨーロッパ出身の外国人）：「初めてこんな菓子を食べたよ！日本の和菓子ってこういうの？でも、なんか不思議な感覚…羊羹だけど、味はパンだ！」

塩田…（観客の反応を見て）「みんな、完全に混乱してますね…。これ、もしかして逆効果かもしれない…」

汐：「いや、まだまだ！この驚きと混乱が広まれば、間違いなくヒットする！きっと今は驚いてるだけさ！」

---

## シーンの：結末

（数週間後、汐のオフィスで塩田が売上報告をする）

塩田：「社長：：残念なお知らせがあります。『羊羹♡マラサダ味』の売上が思ったほど伸びませんでした：：。返品も相次いでいます：：」

汐：（肩を落とす）「そうか：：やっぱり食感と味のギャップが強すぎたか：：」

塩田：「でも、次の新作はきっと成功します

よ！私は応援してますから！」

汐…(立ち上がり、笑顔で)「そうだな！次の挑戦は『羊羹』だ！今度は『わらび餅味』でいこう！」

塩田…「えっ…また羊羹ですか？しかもわらび餅味って…」

汐…「進化は止まらないさ！面白いものを作ることが大事なんだ！さあ、次の挑戦だ！」

(汐の元気な声に、塩田はまた振り回されつつも微笑む)

塩田…「もう…しょうがないですね。でも、頑張らしましょう！」

(幕が下りる)

---

エピローグ…

（エピソードでは、羊羹の開発に取り  
組む汐と塩田が再び奮闘する様子が映  
る）

完